

令和5年度金城こども園の自己評価

金城こども園

1、教育・保育理念・保育観		評価	評価の根拠・改善方法
1	保育教諭一人一人が、金城こども園の保育理念・教育・保育方針を理解している。	4	園内、クラス別研修、また指導計画の際に、理解、つながりを意識できるよう取り組んでいる
2	金城こども園の教育・保育方針を理解して教育・保育計画が立てられている。	4	園の全体的計画から各年齢の年間計画、月案、週日指導計画へと繋げて作成している
3	常に教育・保育方針や保育観を確認できるような機会を作っている。	4	園内研修・リーダー会・中堅会・各クラスミーティング等の中で意見交換するようにしている
4	一人一人の主体性を大切に保育をしている。	4	子どもが遊びを選択できるよう、また思いが実現できるよう環境構成に努めている
5	保護者の子育てを支え、子育ての喜びを共感している。	3	年に4回の個人面談を含め、保育アプリを活用した園の様子発信、送迎時の保護者とのコミュニケーションに努めている
2、教育・保育計画・指導計画			
1	教育・保育方針の、ねらい及び内容が達成できるような全体的な計画や教育・保育計画を立てている	4	認定こども園教育保育要領に基づいて、全体的な計画、年間計画を立て取り組んでいる
2	教育・保育計画に基づき、子ども一人一人の発達の姿や興味を把握して年間計画、月案、週案を立てている	4	ドキュメンテーションを用いて、多面的な個別の姿を共有し、指導計画に反映している
3	現在の姿を理解し、見通しをもって一人一人に応じた教育・保育計画を立てている。	3	発達の特徴、家庭状況、子どもの姿を捉えたこども理解に努め、指導計画を作成している
4	配慮の必要な子には、その子に応じた教育・保育計画を立てている。	3	特別支援を必要とする子は個別指導計画を作成し、発達の気になる子は定期的に会議を繰り返し対応している
1	食育の重要性を理解し、季節や年齢に合わせて食育計画を立てている。	3	食育年間計画から、年齢に応じた体験を計画、実践に取り組んだ
2	調理士、保育教諭等が連携し、会議等で意見を交わし合いながらより良い給食になるよう努めている。	3	毎月1回、給食会議を開き、各年齢の給食状況や食育活動の様子など意見交換をしている
3	出来るだけ地元の食材や旬の食材を取り入れ、様々な食材を味わえるようにしている。	3	旬の食材、地元の食材等を取り入れ、園児が五感を楽しめる活動工夫に取り組んだ
4	給食やおやつは手作りをしている。	4	自園調理を行っている
1	職員の仕事や役割が明確であり、連携を取って円滑な園経営が出来ている。	3	役割分掌、業務分担表を年度始めに作成し職員間で連携を取り、取り組んでいる
2	危機管理意識を持ち、緊急時に対応できる体制が出来ている。	3	マニュアル読み合わせと、訓練を行い、また、振り返りを行い、改善を努めている
3	職員が割り当てられた業務分担を把握し、園の保育や内容を深めるために、それぞれが活発に活動している。	4	役割分担を明確にし、企画書や報告書を提出し責任を持って活動している
4	園内研修と園外研修の計画を立てて実行している。	3	年間研修計画を立てて実施している。園外研修はリモートが多かったため複数で受講することが出来た
5	施設整備や遊具等の安全点検を行っている。	3	チェックリストを活用し、定期的に点検を行っている
5、保護者支援			
1	保護者と良好な関係をつくろうとしている。	4	登降時のコミュニケーション、行事参加型を取り入れ、保護者とこども、園の活動を共有できるよう努め
2	園の保育内容や子どもの姿が分かるような発信をしている。	4	園のブログ、行事参加型、給食参観等を通して、子どもの様子が分かる様取り組んだ
3	保護者の状況を理解し、個人情報への漏洩に気をつけている。	4	園の重要事項説明の中で個人情報の取り扱いなどの了承を得て、漏洩に気をつけている
4	子育てのパートナーとして、保護者の子育ての大変さや悩みを理解している。	3	個人面談や、送迎時のやりとりを通し、保護者の思いを理解するよう努めた
6、子育て支援			
1	地域に開かれた、日々子育てをしている親子を受け入れている。	2	園庭開放を行い、使用目的の親子は案内している
2	地域で子育てをしている親子の交流の場となるように努めている。	2	園庭開放の利用者が少なかった

3	子どもの心身の発達や育児不安について、気軽に相談できるようにしている。	3	送迎時のやり取りの中で、保護者の困り感を把握した場合は、保護者の思いに寄り添ったアドバイスや関わりができるよう努めた
4	園生活の子どもの様子を地域にも発信している。	3	活動報告のブログやホームページを開設している
7、小学校や地域社会との連携			
1	定期的に小学校と交流を行っている。	3	毎月校長先生との対話やおたより交換、また、1年生授業参観を5歳児が行った
2	定期的に小学校やこども園との会議や職員交流を行っている。	3	1年生担任や養護教諭との職員交流を行い、活動や検査等を取り組んだ
3	高齢者施設との交流を深め、高齢者の方を敬う気持ちを育てている。	2	こども園周辺の掃除を行い(5歳児)、地域の方へ意識が持てるよう取り組んだ

4:よくできた 3:できた 2:一部改善が必要 1:改善しなければならない

こども園の自己評価 平均 3.275862 点

園全体の評価

理念方針に基づいた教育・保育の展開と、ドキュメンテーションを通じた園児理解を深め、園児一人一人の主体的・対話的な活動を意識し取り組むことができた。

新型コロナが5類に移行され、時節行事、保護者参観行事も開催し、こども園の取り組み、園児の活動の様子等、保護者と共有する取り組みができた。

また、保護者給食参観(参加自由)では、給食の様子を発信し、家庭での食事の困り感や、職員の関わり等、保護者に寄り添ったアドバイスに取り組み、保護者支援へ繋げることができた。

食育活動として、栽培や収穫活動を取り組んだが、今後は、園児自身のクッキング体験を通し、五感の育みや食への興味・関心への繋がりを意識した活動開催が課題と感じる。

小学校接続に関して、隣接小学校との定期会談と小学校1年生担当との意見交換の他、運動会へ隣接小学校校長招待(5歳児数名で校長室訪問し招待状渡し)、5歳児の1年生授業参観や、公開保育等、幼児教育の情報発信に取り組むことができた。

地域交流では、月に1度、こども園周辺の掃除や、地域散策の取り組み、地域行事の参加等活動の幅を広げることができ、地域の方との交流や、こども園の教育保育の発信の重要性を感じた。

今後の課題として、幼児教育と小学校教育の架け橋について検討し、園児理解を深め、こども一人一人の「やりたい」「やってみたい」等の心の育ちを大切に教育保育を進めていきたい。

さらに、地域交流として、活動内容の工夫を検討し、地域に支えられ愛されるこども園になる様努めていきたい。